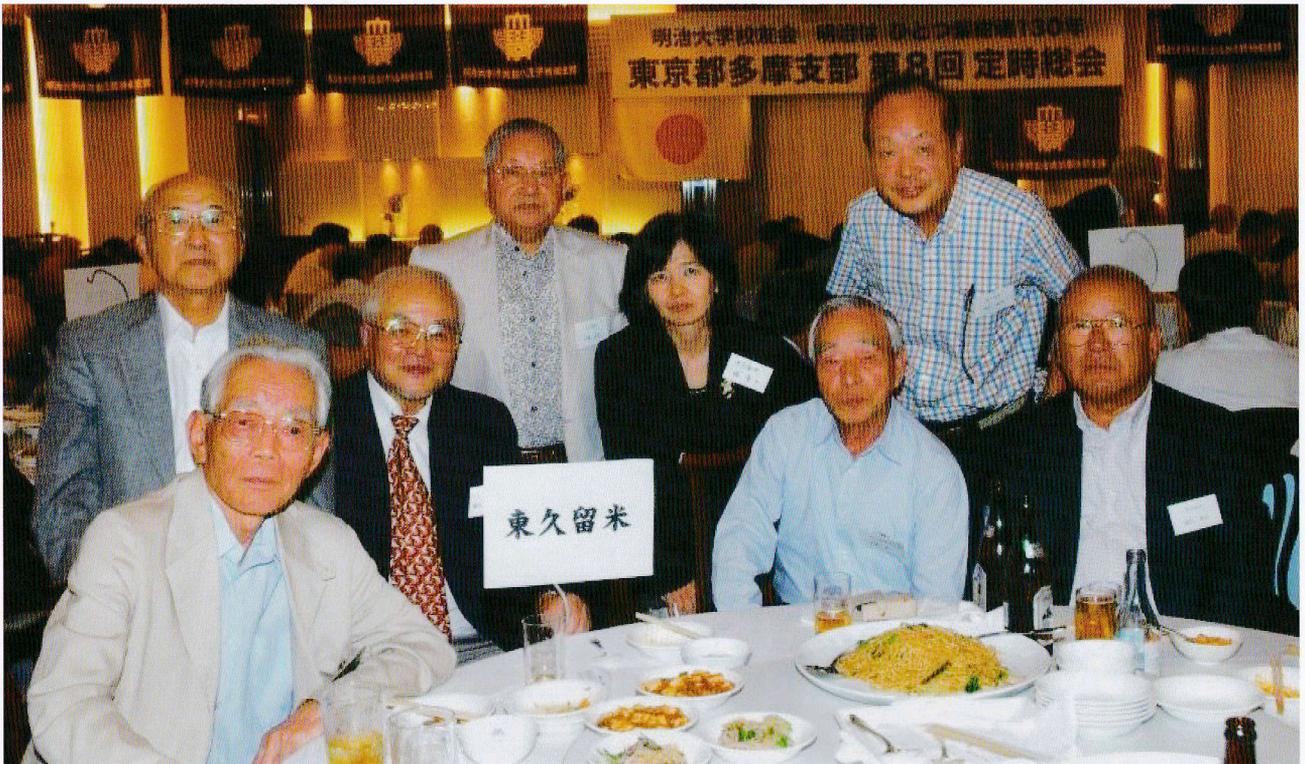


明治大学校友会 多摩支部会報

多摩支部広報部会

第4号

支部長 宮崎 國雄



▲東久留米のみなさん



▲立川らく太師匠公演会



▲女子部会発会式



▲東京競馬場見学

CONTENTS



多摩全域の組織化を	支部長 宮崎 國雄
多摩支部課題は二つ	幹事長 安田 暉
組織部会	部会長 西山 強
企画事業部会	部会長 目黒 万弘
新地域支部紹介	あきる野地域支部、東久留米地域支部
学校関係情報	明治大学&校友会この1年

来てくりよう!

霊峰不二とお茶の里



駿府へ!!



第48回

明治大学全国校友

静岡大会

とき (平成24年) 2012年 9月9日(日)

ところ グランシップ
静岡市駿河区池田79-4

- 記念式典 13:00 受付開始
- 開式 14:00~
- 記念講演会 (講師未定)
- 懇親会 グランシップ

静岡市への交通アクセス

鉄道(JR)

東海道新幹線	東京
最短約1時間	
東海道新幹線	名古屋
最短約1時間	
東海道新幹線	大阪
最短約1時間50分	

自動車

東名高速	東京
最短約2時間30分	
東名高速	名古屋
最短約2時間30分	
東名・名神高速	大阪
最短約5時間	

飛行機

静岡空港	札幌(新千歳)
約1時間45分	
静岡空港	福岡
約1時間30分	
静岡空港	沖縄(那覇)
約2時間30分	



多摩支部第9回総会に寄せて



多摩全域の組織化を

多摩支部長
宮崎 國雄
(小平 S17商)

第9回目の総会にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

会員の皆様には種々積極的なご協力を賜り、発足以来9年目にして10地域支部から16地域支部を擁する全国一の最大支部(会員数22437は神奈川東部に次ぐ2位)となりました。組織部会のご尽力に改めて感謝する次第であります。多摩地域には未だ組織化されていない地域が清瀬市・稲城市・多摩市等々ありますので、何とか全地域の組織化を成し遂げたい、校友の皆様のお力添えを求める次第であります。

私は座右の銘のひとつとして「文武両道・智人勇」の精神をもってことにあたっております。率先垂範で処して参ります。

ところで我が母校明治大学は昨年11月、創立130周年の記念式典と全国校友東京大会(東京都5支部担当)を開催致し、多摩支部からも多くのご参加を戴きましたことは、誠に有意義なことであり、感謝に耐えないところであります。

さて今明治大学は、3年連続受験者数日本一となりましたがそれに甘んじることなく、20年後の創立150周年を見据え世界に誇れる社会貢献度の高いトップユニバーシティを目指し「前へ」大きく踏み出しました。

校友会は母校明治の賛助団体です。

「明治はひとつ」を言葉から実践へ。

部 第8回 定時総



多摩支部課題は二つ

多摩支部 幹事長
安田 暉
(村山 S32政経)

本日は多数のご出席有難うございます。今回の開催担当は「武蔵野・三鷹・小金井・東久留米」の地域支部です。現在この多摩の区域では地域支部誕生ラッシュが続いております。即ち「あきる野市」「東久留米市」に次いで17番目の「清瀬市」が今、胎動中です。

組織部会の働きかけに間髪を入れず対応した地元OB・OGの積極姿勢が光ります。東京六大学出身者が多くいる某会合で最近の明治大学の躍進ぶりを讃えてくれる年来の友人達があります、嬉しいことです。

学校当局は、以前から「第三者評価に耐え得る大学」を標榜してきましたが、今回の志願者数V3達成に就いて「要は中身なので、中身をどれだけ充実していくかです」とその慎重で謙虚な言葉には自信と余裕さえ感じられます。大学の評価は校友会の評価でもあり、校友の評価また大学の評価となるという連鎖でしょうか。

さて、多摩支部の課題は二つあります。

①若い息吹を校友会へー女性の積極参加促進 ②情報のいち早い共有化、ホームページ・メール等を用いた情報コミュニケーションの試み

この試みはまだ緒についたばかりです。それぞれの地元・地域支部で皆様のご協力・ご活躍切望致します。





多摩地区全域に校友の輪を広げ
組織化にスパートを懸けて行こう！

組織部会長
西山 強
(国分寺 S36工)

東京都多摩支部は昨年2地域（あきる野・東久留米）が組織化され、全国校友会54支部で最多の16地域支部を擁する最大支部組織となりました。残す未組織地区は、多摩市・稲城市・清瀬市・福生市・羽村市・西多摩郡の6地区となり、これら地区の組織化が図られれば多摩地域全域に校友の輪を広げた組織化が完了いたします。

この未組織地域には2678名の校友が居り、これらの校友に対して如何に多摩支部の存在と活動内容を知らせ、入会を促していくかが重要であります。

組織部会では各地域支部から選抜された16名の部会員を担当地域別に編成し、これら未組織地域の組織化に取り組む体制を整え、名簿作り等具体的行動を起こしております。地域毎に多少の差異はあっても早い時期に組織化が完了するものと確信しておりますが、福生・羽村・西多摩郡は在住校友の絶対数が少なく（200～280名）、大変厳しい状況にはあります。

地域の組織化には「その地域で中心となる校友」が必須ですがなかなか見出せていないのが現実です。組織部会員も全力で組織化に邁進いたしますが、これら地域に在住校友をお知り合いでしたら、是非、組織部会員または地域支部長までご連絡頂けたら幸甚です。

連絡先 組織部会長 西山 強 042-577-0275

担当者名 (敬称略)	多摩市	今野 弘、井坂 泰、小林丈夫、園田滋夫
	稲城市	小野寺孝成、山崎善国、杉田 信、太田東平
	清瀬市	西山 強、波多野明、田村日出男、永倉總一
	福生市	園田滋夫、中村 充、
	羽村市・瑞穂町	中村 充、園田滋夫
	日の出町・檜原村	野崎 進
	奥多摩町	中村 充



第8回総会挨拶



日野支部HP

合格者高校別ランキング

1	桐光学園	192	神奈川
2	桐蔭学園	167	神奈川
3	西	164	東京
4	湘南	161	神奈川
5	川越	150	埼玉
6	開智	149	埼玉
7	大宮	148	埼玉
8	県立浦和	146	埼玉
9	山手学院	145	神奈川
10	市川	142	千葉

サンデー毎日3.18号転載



懇親会アトラクション



小平支部HP

紫紺ネットに登録をお願いいたします
紫紺ネットは全ての明大校友のための交流サイトで、生涯Eメールアドレス付与
<https://sns.meiji-shikon.net/>



個の力の結集が多摩支部の原動力

企画事業部会長
目黒 万弘

(村山 S43 政経)

校友会は母校の賛助を主たる目的に、全国にその組織網が拡充されてまいりました。東京都多摩支部もその一翼を担い、先輩・同期・後輩を問わず、母校愛に燃え今日まで活動を続け、16地域支部を擁する全国屈指の支部に発展しております。

企画事業部会は、当会本部の目的・主旨に沿って、支部の維持並びに発展を支えるべく、

1. 母校の賛助と会員相互の親睦の促進
2. 地域支部間の交流の拡大
3. 時代の変化に即した情報発信・共有機能の強化

との目標を定め、活動を展開しております。平成24年度においてもこの活動目標に向かって以下の事業を推進する計画です。

- ①地域支部対抗ディスクゴルフ大会の開催
- ②地域支部めぐりの企画
- ③東京六大学野球・大学ラグビー・駅伝等の応援観戦
- ④多摩グルメツアー、温泉めぐり等の企画

一人が皆のために、皆が一人のために (One For All, All For One) はラグビーの精神です。一人ひとりの強い絆が全体を盛り上げる力となります。

我々の明治魂も、逆境に負けずに常に前に進む、個の強さが母校の発展に貢献するとの情熱の発露そのものです。

多摩支部を愛する校友個々の力の結集が、これからの多摩を、東京を、そして全国を支えて行くネットワークの礎となり、原動力となって広まることを願っております。

会員皆さまの積極的なご参加をお待ちしております。



優勝パレード



ラグビー応援



齊藤 孝教授 青梅で講演



国立・日野・国分寺・あきる野
4支部合同餅つき



第3回地域支部対抗
ディスクゴルフ大会始球式

青梅市市制施行60周年記念事業として3月2日「青少年・若者に送るメッセージ」が開催され、薄れつつある日本人の精神やアイデンティティはどうしたら身につけられるのか、そのヒントが溢れんばかりに盛り込まれた濃密な講演が行われ満員の聴衆を魅了いたしました。

新 地 域 支 部 紹 介

あきる野地域支部



この度15番目の地域支部としてお仲間入りを致しました。校友同士の交流の輪を拡げ、地域社会に貢献するとともに、母校とあきる野地域の架け橋となるよう頑張ります。

本間信太郎(36年工)

- 平成22年 9月26日 発起人・設立賛同者会合
- 平成22年10月 市内校友へ依頼文章発送
- 平成23年1月30日 設立準備委員会
- 平成23年4月2日 設立準備総会
(会則・役員・組織担当等決定)
- 平成23年5月 地域支部設立申請書 提出
- 平成23年6月18日 全国支部長会にて正式承認
- 平成23年6月 地域支部旗授与
- 平成23年7月23日 多摩支部総会 参加
- 平成23年10月29日 結成祝賀会
- 平成23年11月3日 全国校友東京大会 参加



映画「五日市物語」では校友の両氏が出演致しました!!



栗原 普二氏
地域支部幹事
1961年 商
軍道紙保存会長



小澤 豊氏
地域支部幹事
1960年 商
公務員

当支部校友には藍染描画家や能面師などもおられます

東久留米地域支部



16番目の地域支部として、平成23年11月26日全国支部長会で正式に承認されました。多摩支部の一員として、早速、多摩支部第9回総会担当支部に

山口達夫(35年政経)



当支部は平成22年夏ごろから有志が集まり組織部会のご指導のもと、地域支部設立の準備を進めて参りました。そして、

1月23日、念願の「地域支部旗」が向殿校友会長から授与されました。よろしくお願ひします。



正式発足以前から活発に活動しており、平成23年11月12日にはサントリービール武蔵野工場見学と東京競馬場での観戦を楽しみました。

11月15日第1回親睦ゴルフコンペ開催。各種行事を通じて親睦を深め、会員拡大を図りたい。



2012年入試 主要私大志願者数

(2月22日付、明大広報課調べ)

順位	大学名	志願者数	前年	前年比
1	* 明治大	112,342	113,905	-1,563 98.6%
2	早稲田大	108,527	113,653	-5,126 95.5%
3	法政大	85,129	92,819	-7,690 91.7%
4	* 中央大	83,997	86,155	-2,158 97.5%
5	* 日本大	80,330	92,187	-11,857 87.1%
6	* 関西大	78,985	86,463	-7,478 91.4%
7	* 立命館大	77,718	75,683	2,035 102.7%
8	立教大	69,452	67,837	1,615 102.4%
9	* 近畿大	67,167	81,387	-14,220 82.5%
10	* 東洋大	58,762	67,522	-8,760 87.0%
11	青山学院大	55,692	53,961	1,731 103.2%
12	* 同志社大	51,070	48,509	2,561 105.3%
13	* 東京理科大学	50,541	52,106	-1,567 97.0%
14	慶應義塾大	43,265	46,693	-3,428 92.7%
15	関西学院大	42,513	44,299	-1,786 96.0%

*は2月22日現在志願者未確定大学

明治大学&校友会この1年

順不動 by フォット

抜粋 (学術的事項除く)

卒業式&
入学式
中止!

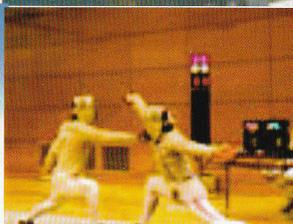
被災学生支援制度
の設定
各種義援金の募集

被災学生支援義援金
4881件 153036419 円
東北関東大震災被災者救
援義援金
101件 4581453 円
校友会東北関東震災義援
金 457件 15397636 円
義援金は2月27日時点

紫紺ネット
明治はひとつ
明治大学校友会
登録者募集中



130周年記念事業マツキ
シリーズ登頂成功6月6日



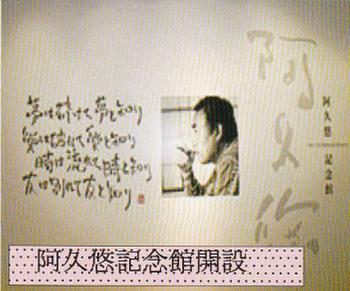
全日本学生王座決定戦
40年振りの日本一に!



櫻井勝之(商2)
日本アマ初優勝



神巧也(政経1)
全日本学生選抜優勝!



阿久悠記念館開設



創業者レリーフ設置



130周年記念演奏会



大学野球日本一



51年振り快挙



49年振り総合3位



全国校友東京大会

志願者数3年連続日本一
新司法試験90人合格(第6位)
公選法計186人合格
学校法人明治大学長期ビジョン制定



なでしこジャパン監督
特別功労賞・国民栄誉
賞等々数多く受賞
ロンドンに期待!!

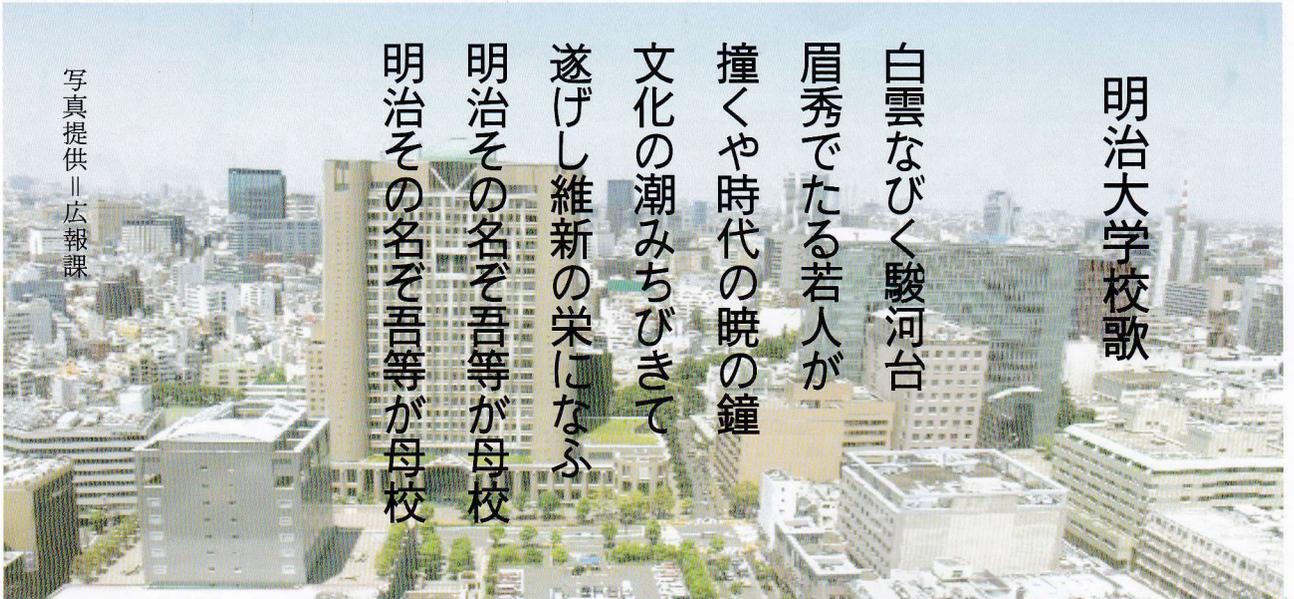


明治大学躍進にご尽力賜りあ
りかとうございました。
多摩支部長 宮崎國雄

明治大学校歌

白雲なびく駿河台
 眉秀でたる若人が
 撞くや時代の暁の鐘
 文化の潮みちびきて
 遂げし維新の栄になふ
 明治その名ぞ吾等が母校
 明治その名ぞ吾等が母校

写真提供 広報課



紫紺の歌

光輝みつわれ等が
 母校明治の名をおいて
 若き血に勇める
 猛き精鋭今ここに
 起てり土を蹴りて
 闘志はもゆる神技の精華
 無敵の明治明治明治
 輝く栄冠戴く我等
 才明治明治われらが明治

中野キャンパスイメージ



C地区イメージ

生田第二校舎イメージ

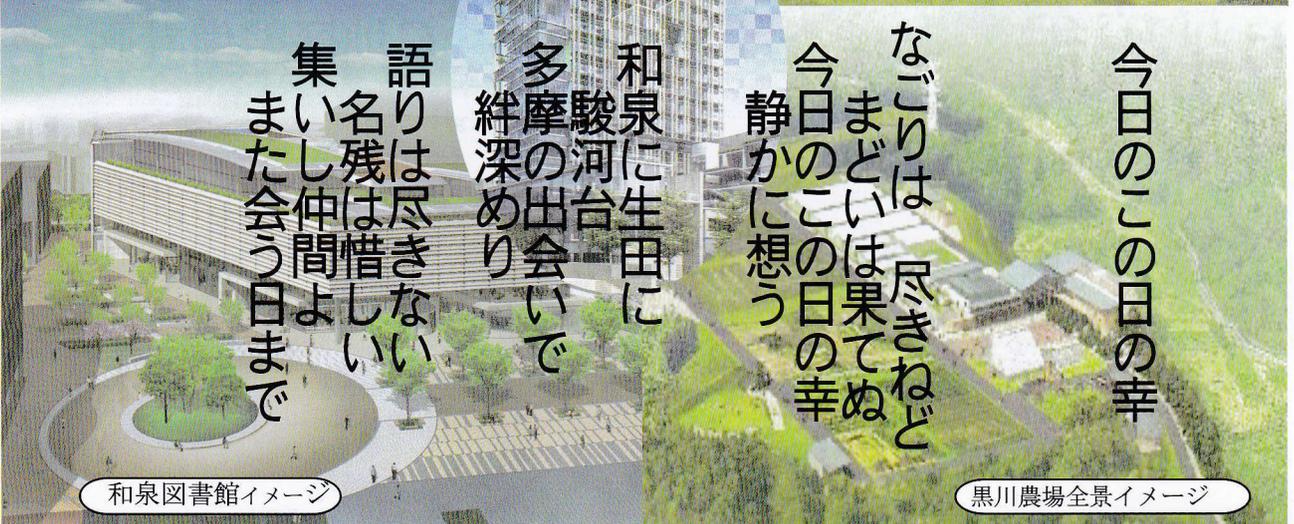
今日のこの日の幸

なごりは 尽きねど
 まどいは果てぬ
 今日のこの日の幸
 静かに想う

和泉に生田に
 駿河台
 多摩の出会いで
 絆深めり

語りは尽きない
 名残は惜しい
 集いし仲間よ
 また会う日まで

和泉図書館イメージ



黒川農場全景イメージ

編集後書

「絆」という日本人が本来から持つ心を再認識させられた東日本大震災そして福
 高原発事故、あれから1年有余、未だ先の見えない戦いが続いている。息の長い
 支援を更に継続したいものである。さて母校明治大学は創立130周年から150年を自指して大きくそ
 の一步を踏み出した。世界で活躍する人材を育成し、社会への貢献度高める大学の使命を果たすために。

母校賛助をその目的の一つとする校友会の一翼を担う多摩支部、17番目の地域支部誕生を期待！

発行責任者 支部長 宮崎國雄 副責任者 安田 暉

編集・広報部会 飯田光宏・柴田健彦・金子満寿美・三上省三・小山敦・菊地敏郎・土屋栄一・車島尚三
 安藤興彦・村野公一・尾形順一・内田朝子・松江康司・内田保男・土井隆夫・大島孝之